

平成29年

壱岐市議会定例会12月会議

行政報告

壱岐市

目 次

1. はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
（1）有人国境離島施策の推進について	2
（2）長崎県への要望書の提出について	3
（3）壱岐市特別職報酬等審議会について	3
（4）東京壱岐雪州会100周年記念総会について	4
（5）ふるさと納税について	5
2. 交流人口の拡大	
（1）観光振興について	6
（2）婚活事業について	7
（3）地域おこし協力隊について	7
3. 産業の振興	
（1）農業の振興について	8
（2）水産業の振興について	10
（3）商工業の振興について	11
4. 教育	
（1）市内歴史遺産の情報発信について	12
5. 防災、消防・救急	
（1）防災について	12
（2）消防・救急について	13
6. 議案説明	
（1）補正予算について	14
（2）その他の議案について	14
7. おわりに ・・・・・・・・・・・・・・・・	15

行政報告

平成29年壱岐市議会定例会12月会議

1. はじめに

本日ここに、平成29年壱岐市議会定例会12月会議にあたり、前会議から本日までの市政の重要事項、及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

この度、本市附属機関の行政委員など多年にわたり多くの役職を務められ、本市の振興発展に多大な貢献をいただいている ながおか 長岡 しんいち 信一 様が、地方自治功勞として地方自治法施行70周年を記念した総務大臣表彰を受賞されました。

また、多年にわたり行政相談委員として活動されている ふくだ 福田 ていこ 禎子 様が、平成29年度行政相談委員総務大臣表彰を受賞されました。

さらに、11月23日付で発令された本年の県民表彰では、社会福祉功勞として、多年にわたり民生委員、人権擁護委員等を務められている たぐち 田口 チズ子 様が、勤勞功勞として、本市の伝統工芸品である鬼凧の製作を多年にわたりお続けの ひらお みょうじょう 平尾 明 丈 様が、また、優良団体（農林）として第41回日本農業賞大賞を受賞され、現在、環境保全型農業に取り組み、全国初となるエコファーマー認定を受けられるなど農業の振興発展に寄与されている壱岐市農業協同組合アスパラガス部会が、それぞれ受賞されました。

この度、表彰の榮に浴された皆様へ、心からお慶び申し上げます

とともに、今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表する次第であります。

(1) 有人国境離島施策の推進について

本法律の施策の重要な柱の一つである雇用機会拡充事業については、国からの第3次交付金の決定を受け、総額1億7,541万6千円で、現在、創業が3件10人、事業拡大が22件77人、合計事業者件数25件、雇用創出見込数87人となっております。各事業者の皆様は、現在、事業計画に基づき着々と事業を進めておられますが、一方、雇用人材の確保が急務となっていることから、今後関係機関等と連携・協力を図り、島外を視野に入れた人材の確保対策に取り組んでまいります。

航路航空路運賃の低廉化については、4月から10月までの航路航空路利用者数が全体で508,053人、対前年比19,434人、4.0%の増、その内割引運賃の適用者は164,328人で、全体利用者数に占める割合は32.3%となっており、市民皆様の経済的負担緩和と利便性の向上に繋がっているものと捉えております。

また、準住民の取扱いについては、国から認定された市民皆様の扶養親族となっている市外に居住する18才以下の児童・生徒、UIターン促進短期滞在事業の認定者、未成年である離島留学生の親族、介護福祉士養成校の未成年である学生の親族、長崎県立大学の「プログラム」に参加する学生・教員が対象となり、10月1日から申請を受け付けており、11月末現在、85人の方を認定してお

ります。準住民のさらなる対象者の拡大については、今後も国・県と協議を重ねてまいります。

なお、国境離島島民割引カードの発行については、11月末現在、6,929人の方が申請されております。現在、便宜的に認められている免許証等での確認による運賃低廉化の適用は、来年3月末までとなっており、来年4月からは、国境離島島民割引カードの提示がなければ認められませんので、市民皆様におかれましては、早めのカード作成をお願いいたします。

(2) 長崎県への要望書の提出について

去る11月17日、長崎県への壱岐市及び壱岐市議会連名の単独要望を行いました。中村知事をはじめ、幹部職員に対応いただき、本市からは、^{やまもと けいすけ}山本 啓介 県議会議員にも同席いただき、8項目の要望書を小金丸議長とともに知事へ提出しました。本年度の重点要望項目として、空港滑走路の整備と勝本港に関連する施設整備の2項目を私の方からご説明申し上げました。本案件は、本市にとって極めて重要な施策であり、ご理解をいただくよう協議を重ねてまいります。今後も、県との連携を密にし、本市の振興発展に全力で取り組んでまいります。

(3) 壱岐市特別職報酬等審議会について

議員及び市長等特別職の報酬等については、平成17年以降、報酬等の検討、見直しを行っておらず、議会からも報酬等の審議を行う壱岐市特別職報酬等審議会の開催について依頼があったことを受け、本年10月20日に本審議会を開催し、諮問を行いました。

3回の審議会、2回の打ち合わせ会を経て慎重にご審議いただき、11月21日に答申をいただいたところであります。

答申の内容は、他の類似自治体と比較しても本市の特別職の報酬等は最低水準であることなどを総合的に判断し、議員については、月額15,000円から20,000円のアップ、市長等特別職については、月額25,000円から35,000円アップとの内容でありました。本答申を受け熟慮した結果、議員については、現在の報酬額が県内12市と比較しても最低の額であることから、本答申を尊重し、月額15,000円から20,000円のアップとし、平成30年4月1日実施として、条例の一部改正を本会議に提出しております。一方で、市長等3役の給料については、県内で低い水準にはあるものの、現在、対馬市等とも同額であることや本審議会の協議の中でのご意見等を考慮し、当分の間、据え置くことといたしました。

答申の中では、報酬等の改定にあたり、壱岐市活性化のためさらなる活躍を期待するという意見が付記されており、今後も、議会と活発に議論を交わし、本市の振興発展に全力で取り組んでまいります。

（４）東京壱岐雪州会100周年記念総会について

1917年の創立以来、電力王 松永安左エ門翁をはじめ歴史に名を残す多くの偉大な方々が会員として名を連ね、郷里壱岐の振興発展に多大なご尽力をいただいている東京壱岐雪州会の創立100周年記念総会が、中村知事をはじめ480人の関係者皆様出席のも

と、東京都内で盛大に開催されました。

東京壱岐雪州会におかれては、これまで貴重なご浄財や桜の苗、また各小中学校へのぼり旗等のご寄付を賜るとともに、あらゆる機会において、ご支援をいただいているところであります。

今後、次の100年に向けて東京壱岐雪州会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念いたしますとともに、引き続き郷里壱岐の振興発展にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げる次第であります。

(5) ふるさと納税について

本年11月末現在のふるさと納税は、入金ベースで6,679件、約1億2,900万円の寄附額となっております。また、本年度は50年に一度の豪雨災害に見舞われ、九州豪雨災害緊急支援の寄附額963万5千円を含め、昨年度同時期と比較すると6,800万円上回り、約2倍のご寄附をいただいております。

お礼の品については毎年見直しを行い、本年10月にカタログを改訂しておりますが、平成29年4月の総務大臣通知により、お礼の品の返礼割合を3割以下とすることや資産性の高い返礼品を送付しないなどの通知があっており、本市においても平成30年2月からの返礼割合を5割から3割に変更するなどの見直しを行うこととしております。寄附額に影響が出ることも予想されますが、寄附金の使途の工夫や事業の趣旨、内容を分かり易く示して募集するガバメントクラウドファンディングの活用など、納税者の共感が得られるような取組を進めてまいります。

2. 交流人口の拡大

(1) 観光振興について

本市における観光客数を推計するうえで参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの8月から10月までの乗降客数累計は、212,255人、対前年比98.9%でありました。前年と比べ若干減少しており、8月と10月の台風が影響したものと捉えておりますが、夏場の減少について、検証する必要があると考えております。

地方創生拠点整備交付金を活用して、郷ノ浦港ターミナル隣接地に観光サービス拠点施設を整備中ではありますが、11月から本格的な工事に入っており、安全対策としてバリケードを設置しております。年度末の完成予定であり、ご利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

10月に天神中央公園で開催された「九州うまいもの大食堂2017」、11月に福岡銀行本店広場で開催された「NAGASAKI 離島フェア」、東京都内に全国の離島が集まるイベント「アイランダー2017」への出展等、本市のPRを積極的に図っております。また、島の魅力を活かした旅行者誘客や地域振興を目的として本年5月に発足した島の宝観光連盟の幹事会が、11月6日に本市で開催されており、全国の島と島との連携や新たな取組による交流人口拡大を期待しているところであります。今後も引き続き、あらゆる機会を利用し、島の魅力を発信してまいります。

(2) 婚活事業について

人口減少対策の一環として実施している婚活事業「第5回イキイキお結び大作戦」を、11月11日と12日の2日間、市内で開催いたしました。壱岐在住の男性参加者には、10月に東京から講師をお招きし、コミュニケーション方法や心構えなどを学ぶ事前セミナーを開催しました。

女性参加者は、福岡・長崎を中心に遠くは東京・神奈川・大阪からご参加いただき、男性19名・女性19名で開催し、当日は、昨年同様、全国で活躍されている婚活マスター たかはし そうすけ 高橋 聰典 先生をお招きし、きめ細やかなフォローをしていただき、9組のカップルが誕生しました。

昨年の成果として、11月に1組の結婚式があったこの事業については、今回も、イベント終了後には、交際が円滑に進むよう高橋先生から男性参加者への直後セミナー、そして、2週間後にはカップル成立男女を対象に、フォローアップセミナーを実施したところがあります。今後も、1人でも多くの成婚者、移住者の増加となるよう、工夫を凝らした婚活事業を展開してまいります。

(3) 地域おこし協力隊について

「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢等の進行が著しい過疎地域等において、都市部の人材を積極的に受け入れ、概ね1年以上3年以下の期間、地場産品の開発、農林水産業への従事等、地域協力活動を行ってもらい、地域に定住・定着を図ることを目的とした制度であります。

本年度は、5月に地域商社担当として1名の隊員を委嘱したところではありますが、さらに有人国境離島法の施策の柱の一つでもある滞在型観光担当として10月10日に ^{つじかわ けいこ}辻川 景子 氏、11月15日に ^{やまうち ゆうすけ}山内 裕介 氏を委嘱しております。

観光資源を外の目から捉え直し、新しい価値の創造と情報発信に期待しております。

3. 産業の振興

(1) 農業の振興について

皆様ご承知のとおり、アメリカを除くTPP加盟11カ国は、閣僚会合の結果、アメリカ抜きで早期発効させるための新協定に大筋合意したと発表されました。政府は、年明け早々の署名を目指しておりますが、アメリカの復帰見通しが立たないにもかかわらず、将来のアメリカ復帰を前提に、農畜産物の市場開放水準をそのまま容認する方針であります。TPPの発効により、多くの農畜産物に影響が出てくるものと捉えており、今後のTPPに係る情勢と日米FTA、日欧EPA交渉の動向を注視し、関係機関と連携した取組を展開してまいります。

本年度の水稻作況指数は、長崎県全体で101%、壱岐においては104%と平年を上回る発表がなされました。

早期米については、5月中の降水量が少なかったことと6月、7月の度重なる豪雨が影響し、収量は平年並でありました。品質については高温の影響により、コシヒカリは1等1%、2等99%で

あった一方、高温耐性のある「つや姫」は、1等99%、2等1%の好成績でありました。

普通期米については、収穫期に雨が多かったため、刈り遅れが若干見受けられましたが、11月24日現在、にこまる、ヒノヒカリとも1等100%となっております。

葉たばこについては、度重なる集中豪雨による圃場の冠水に伴う黄化、疫病の発生、一部圃場への土砂流入による被害等が発生し、収量は10アール当たり245kgでありました。10月16日から20日にかけて行われた収納・販売では、1kg当たり2,042円の高い品質で10アール当たり代金499,799円の成績でありました。

畜産については、9月7日から11日まで宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会において、本市から3頭の出品をいただきました。出品者の皆様には、壱岐牛の特性を遺憾なく発揮していただき、特に第7区の総合評価群肉牛の部では、株式会社 野元牧場様が特別賞を受賞されるなど、素晴らしい成績を収めていただきました。出品者の皆様のご尽力に深甚なる敬意を表しますとともに、長期間にわたる御労苦にお勞いを申し上げます。

肉用牛経営における子牛の販売は、繁殖農家の減少に伴い全国的に高値で推移しておりますが、肥育農家においては厳しい経営を強いられております。12月1日、2日に開催された子牛市では、平均価格が10月市と比較し、1頭当たり約6万9千円高の平均84万1千円となっており、依然高値での取引となっております。

しかしながら、高齢化・後継者不足等による繁殖牛の飼養頭数が減少傾向にありますので、産地維持のため関係機関と連携を図り、繁殖基盤の強化を推進してまいります。

農地・農業用施設等災害については、災害査定が9月11日から実施されており、現在まで7週実施され、残りあと1週となっておりますが、査定終了次第、早急に関係事務手続きを進め、復旧工事に着手してまいります。

今後も、農業者皆様そして関係機関と連携を図り、農業振興に努めてまいります。

(2) 水産業の振興について

本年4月から10月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較しますと、漁獲量は、1,528トンで19.4%の減、漁獲高は、14億千百万円で16.4%の減となっております。主な要因は、漁場環境の悪化によるスルメイカの不漁や資源管理のためのクロマグロの漁獲抑制、10月の台風など天候不良が考えられます。

クロマグロの漁獲制限については、県に対し、資源管理による水揚げ減少に対する支援の充実と代替漁法への転換に対する支援の拡充など、国への働きかけを要望したところであります。

魚価の低迷、資材の高騰など漁家経営は大変厳しい状況が続いておりますが、水産業の振興を図るため、今後も、漁業者の皆様そして各漁協をはじめ関係機関と連携を図り、有人国境離島法による制度を活用した施策など、積極的に取り組んでまいります。

(3) 商工業の振興について

壱岐しごとサポートセンター（I k i - B i z）については、当初、年度内の相談件数を180件と見込んでおりましたが、8月22日の開設から11月末まで297件の相談をいただき、リピート率は95.6%、予約も3週間待ちとなるなど大変好評を得ております。

壱岐市ふるさと商社については、設立から4カ月が経過し、その間、商談会への出展、物産展の開催等積極的に営業活動を行っております。9月末には、博多駅横の博多マルイにおいて9日間の物産展を開催し、これまでの人気商品に加え、新たに開発された甘酒や島ジャム等を出品したところ「今までの壱岐の物産展と違う」「こんな商品があるとは知らなかった」等、嬉しい声も多数聞くことができました。また、東京壱岐雪州会100周年記念総会においては、冷蔵ケースをレンタルし、例年出品していない壱州豆腐やかじめ、また田植え団子等を販売したところ、壱岐の懐かしい味に非常に多くの皆様に喜んでいただくことができました。来年2月からは、福岡市内の飲食店において壱岐産品を使ったグルメフェアも開催予定となっております。

今後とも、関係機関と密に連携を図り、壱岐産品の販路開拓に取り組んでまいります。

4. 教育

(1) 市内歴史遺産の情報発信について

日韓両国の民間団体が共同で申請をしておりました「朝鮮通信使に関する記録」が、10月31日、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）会議において、世界の記憶（世界文化遺産）として登録決定されました。

これは、17世紀から19世紀の日韓間の平和構築と文化交流の歴史が世界的に認められたものであり、壱岐市においても土肥家に伝わる『朝鮮通信使迎接受絵図』が登録されたことは、非常に意義深いものであり、また、喜ばしいことと考えております。

現在、一支国博物館においてレプリカ展示を行っておりますが、今後、この貴重な資料を適切に保存管理を行いながら、国内外問わずさらなる情報発信に努めてまいります。

5. 防災、消防・救急

(1) 防災について

10月22日に九州地方に接近した台風21号は、超大型ということもあり、本市で最大瞬間風速25.2メートルを記録しております。この影響により家屋のタイル壁が崩落し、市道が通行止めとなる被害が発生しておりますが、幸い人身にかかわる被害は発生しておりません。

また、その翌週には台風22号が発生し、日本各地で大雨被害が発生しております。地球温暖化の影響とも言われておりますが、近

年、このような豪雨・暴風等による自然災害が頻発しております。

こうした自然災害に備えるため、11月19日に勝本町在部地区9公民館合同で、地域担当職員も参加した防災訓練が実施されたところであり、また、12月10日には、新郷ノ浦港埋立地一帯で壱岐市防災訓練を実施する予定としており、今後とも、関係機関と十分連携を図り防災対策に取り組んでまいります。

市民皆様におかれましては、非常持ち出し品の準備、災害時対応の事前確認、さらには自主防災組織での避難訓練の実施等、今後も自助、共助に努めていただきますようお願いいたします。

原子力防災については、11月7日に本市で5回目となる原子力安全連絡会が開催され、県、市、九州電力、各関係機関の代表18名が出席し、玄海原子力発電所に関する防災対策などの情報の共有化と意見交換を行ったところであります。

(2) 消防・救急について

本年1月から11月末現在の火災・救急発生状況は、火災20件、救急1,608件となっており、昨年同期と比較しますと、火災が1件の増、救急が110件の増となっております。

去る11月9日には、石田小学校において消防訓練を実施し、児童の避難訓練と自衛消防隊の初動体制の確立、消防隊及び消防団の防ぎよ活動技術の向上、関係機関との連携強化を図ることができました。

これから年末年始にかけて、火災の発生しやすい時期となります。市民皆様には、火の取り扱いなど十分ご注意くださいようお願いいたします。

いたします。

6. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出しております平成29年度補正予算の概要は、

一般会計補正額 2億2,263万1千円

各特別会計の補正総額 641万7千円

となり、一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

2億2,904万8千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

272億4,727万8千円

で、特別会計については、

102億1,323万6千円

となっております。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、損害賠償の額の決定に係る案件1件、条例の改正に係る案件4件、公の施設の指定管理者の指定に係る案件4件、公有水面埋立に係る案件1件、予算案件5件であります。

何とぞ十分にご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

7. おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月4日

壱岐市長 白川 博一